

Kitasato Memorial Medical Library

F
オ-22

風防者金一任

川西村

中崎十之五

その所のちろ村の如く

誤名

けいそ

淋病妙薬

カミケノシヨヤキ

西復分血子

長友毛霜

右ニ味 白サトリ湯ニテ

加味

芭蕉葉モミノ葉

ツンバナノ根

大散サホニシテ

耳入

阿蘭陀膏薬

アウリウシ

バシリエン

アホス

テシタボ

テヤシ

白石膏

萬油

トフトウリウシ

一何斤トアラハ百六拾目一斤ト心得可申事

風防生金一任

川西村

中崎十三番分

吾那那のちが村の如く

誤り

けいそん

淋病妙薬

カニケノ名ヤキ

覆合血子

長友毛霜

右ニ味

白サトリ湯ニテ

加味

芭蕉葉モミノ葉

ツンバナノ根

ミイタノ根

耳痛

南天ノ葉ホラホリ塩入
耳ア入

阿蘭陀膏薬

アウリウシ

エビシヤクシ

バシリエン

カンアラ

アホス

アキヤシ

テンタボ

テミイヨ

テヤ

一亂

白石膏

茄子丹

萬油

薬性

トフトウリウシ

一何斤トアラハ百六拾目一斤ト心得可申事



イクエント アウリウン

黄蠟 六拾目

油 二斤半

松脂 三拾目

乳香 十反

没藥 同

鬱金 同

右煉搗先油蠟ヲ入者トカシ後

カウモツヤツヲ入ルツニハ鍋ヲラヨシテ

能者腫ヲケシ痛ヲ止ル下疳ニ吉此膏

藥ハ微温ニテ和カ也

本方ニテイサツト有不入共ルシカラ

ス入テハ弥ヨシ

唐抄脂之唐
狗子手時日本抄脂吉

イソクエント エヒヤリ

緑青 水飛ス 五拾目

明礬 燒返 十文

白蜜 上々 本蜜事 百四拾目

酢 上々 七拾目

右煉搗四味一度入ソロト煮テムキ
色ニ成ル時上ケテ器ニ入風不引搗置
能煮萬物之眩ヲ止惡肉流ハシリ
比或ハホスナト加エツカウハシ裏虫
田虫ニモ吉

イソクエント ハシリヤン

黄蠟 八拾目

チヤン 同

松脂 百六拾目一斤之
改テ煉テ吉 二斤

油 同

右煉搗油ヲ入ソロト煮立殘三味ノ
能腫物ヲヨクウニスル吸心モ有湿ヲ
抜取諸之腫ヲ散ヘキト思ハウスク付
タル苦ウニスヘキ時ハ厚付ヘシ温也

イソクエント カシラトシ

花油 百拾目

白蠟 三拾目

唐土 四拾目

龍腦 シヤウノウラ燒返
入タルモ吉 二文

麝香 二文

右隣ラ者トカシ花油ノ介藥作リ

ウノウシヤカウハ鍋ヲヲ台シテ後又ル
麝香ハ本方ニ如此トイフ定不入カ吉
リウノウモ生腦ヲ燒込入タルカ吉
花油無時者莫此一劑野鹽油廿目
此油ノ代ニ胡麻ノ油モ吉ホルトカ九ノ油

右之花ノ油ノ目百拾反入テ煉タルカ
吉石流ニハ如此也

能小瘡吉草ノ類吉冷成故腫物
之熱ヲ能止ス第一下疳吉男女共
肌惡キハ龍腦少加ハ之膏藥討者
香惡ニハ如此

油

イニシエントアホスト占之温

九拾目

巴豆 アラソキサ

八反

蓖麻子 同断

十二反

仙人掌

六月ニ取テ氣ノ不入様白ニテ羊糸
リ其汁ヲ蠟ニ合テ成程靜ニ煎結口ヲ
加常方及ニ時吉如此仕置ハ何時モ此
膏茶可合モ自由也色ノ青ホト吉煎
事者春一日程

蠟

仙人掌蠟取ニシテ
四十目

四拾目

松脂 未メ

拾五反

鹿角 霜メ

六反

野鹽

椰子ノ油之
野鹽ト云誤カ

二拾目

乳香

六反

酢

四拾目

緑青

扱末メ水飛入

三拾目

右煉ヤウハ先油ニ巴豆蓖麻ノ味

入此二味エケルホト更ニ尖形炭燻ル
 時又ノニテユシカスラステサテ外鍋右
 ノ酢四拾目ヲイリツケル事五六分ホト
 メ件ノ前火タノ油ヲ此酢中へ亦火ノ
 上ニ置キ鹿角松脂蠟乳香入ノ松脂
 ロウノトケタル時ヤシホヲ入早クナベラ
 ロシサテロツシヤウヲ入ナルホトカキマ
 能ハ第一膿ヲ吸事甚弥シ嗽ヲ止患
 肉ヲ流事妙ナリ

油ニシテ巴豆ヲ入エテホト更ニ尖形炭燻ル時蠟乳香
 入ヨリカキマハス鹿角ノ霜外ノ鍋ニ酢ヲ入余程之間
 更ス右ノ蠟トケタル時ヤシホヲ入カキマウ其後鹿角中
 コシテ入ルヨリカキマウシシラツシテ上ニ直ニカクシテ
 布ニテユシ鍋ヲロシ置随分カキマウシ大方サメタル時
 又如此見覺ル目ノアラキ布ニテユシタルガヨシ

 口傳 世目 五十目

夕ハエノ青汁 五合
 ミヤウバン 二反
 タカラシノ青汁 五合
 タンパン 二反
 口傳 世目 五十目

右如常煉
 能ヨク吸肉ヲ止ル
 青油見合入
 蠟 一兩
 ヤシホ 二反
 トシテンカ 二反
 右子リヤウハ油ニ蠟ヲ入トケタ

トシテシカヤシホ入レ其ニハスルニシテ
ニワシ吉

△能吸愈ス第一金瘡吉アホス同前
成程和吸

青 イクエシト テシホ

チイナ 四拾目

ニウカウ 二反

モツヤク 同

玉子黄身 ニツ分

右煉搦ウツワシ人入日當テカキニウシ
子ル火ヲ急殊更此膏ハ久ク不羊用
當分拵可遣

△能大補肉ヲ上ル事妙有リ深疵ナ

トハ五六日過ツカウヘシ聲言肉ノ多キ
野有ニ平身ニ可成ト思ハ其ノ多キ野
引針シテ多シ其後此膏ヲ見合付
合肉上リ平身ニ成ル也

イニハラスト テミイニヨ

丹 一斤

油 二斤

蠟 半斤

チイナ 四拾目

ナトリ 二拾目

辰砂 但是不入カ吉 五反

油 蠟ヲニトカシ残ノ糸味ヲ入ル

△能腫物之皮ヲ生シ上愈也

シ疵皮ヲ生ス痔ノ止痛愈_レ之愈
兼タル吉インク下ニ煉ル油ヲ過ス
加減是計也

インハラスト テヤハルニ

油 二斤半

一シテンカ 二百拾反

金ノカス上ノ酢ニテ
水飛 二斤半

ミヤウシ 四拾反

タンシ燒 同断

先油ヲ煎水ヘヲトシチラス玉ニ丸時
ブタノ油ヲ入次カスヲ入ソクト子リ
後ニ明谷膽撻ヲ入
能ハ平ニ皮生愈第一疵之上膏之

ヨク愈ス之打折タル野ハ酢ニテトキ
付ル

一亂乙亂ト書

當皈 芍薬 白欬 連翹

白芷 白朮 烏茶 圭心

木鼈子 各五反 川烏頭 草烏頭

大黃 各六反 苦參 皂角 各五反

槐枝 棗枝 各五反

右何モアラクトキサミ油二斤三日漬
其後炭成程煎油ノ水ヲ落玉成
テチラサルトキ丹水飛百世目柳ノ今
ニテ煉合水ヘヲトシ加減ヲ見アケサニ乳
香没薬四反ツ、搗末ス入

能ハ湿氣ヲ去リ癰疽疔腫毒瘰癧寒
其外無名腫物ノ痛ヲ止筋氣脚氣胸
ノ痛腹痛痰痛其外強破損一切喰
齒ノ痛穴へ入テ痛ヲ止メ治スル

白石膏

艾葉 一兩 黑燒 一兩

油 一斤

丹 油應入ル 黃蠟二兩 三反ホド入ル 夏ハ冬ハ不入

右煉ヤウハ先油計ヲ煎水へ落シ不散
玉ヲナス時艾ヲ入次丹ヲ入テ大豆ホト
水へ入カケン見ヘシヤウテカナラフ赤子リ
ツメヘシカタクハ油ヲ少加テ少煮立ヘシ
水氣乗ナリトモ油へ入レハ夏外シリ

テ悪シ其外煎タレ油へ水氣カタク
禁スベシ

能ハ愈ス吸心有毗ヲヨクスルアカキ

レニ吉 一油百目一丹六拾目一艾葉一反 右霜月煉リカケン吉

茄子万能膏

ナスヒ 二百

ツルハコトベキサミ 三升

蓮葉 同 一升

青木葉 同 三升

セキロウ 同 一升

右五味水三斗入レ下占ケルホトニ煎布
ニテエシホソクトセシメ乳香没薬ニ
味少宛入器入風不引様ハ可置

△能ハ悪血ヲ去ラシ痛ヲ止メ絶腫吉
療ニ吉諸ノ腫ヲ止ル第一萬腫ノ関茶
成關時過干ノ黒燒ヲ加テ關也

油取様并能之事

狐ノ油フクリヨホス

薄荷キサミ

百二十拾目

水

七百目

鹽

拾反

油

三百目

右四味一ツメ煎立叔狐一疋分ノ油
ヲ割右へ入シツカニ煎シ紙ヲヨリテ
右ノ中へ入火ヲ付ルヨリトホルトキ
上久シ水氣アルハ右ノシツクトホラ

ストホルニテ可煎

△能ハ筋ヲ延ル風脚氣ニヌリテ吉其
外ヒエテシヒルニカワクモノ痛ヲ先
腫ヌラシ色ヲ能スル也

△野菊之油秋取テ吉ヲウリヨカモオト云熟

取様花ヲソニカケホシニテホルトカ

ノ油ヒタシビイドロノ徳利へ入口ヲ塗
フサギ百日裡日ニ干シホリ取糟ヲ去
能ハ筋氣ニ塗テ吉骨ノ痛ヲ治ス
諸ノ痛ヲ止和ル也

△白百合草ヲウリヨレリウル温

取様野菊同前

△能ハ是ヲ筋骨ノ疼止メ筋ヲ補フ

野菊ト調合メ猶吉産後心持アリ
キ脚ヌリテ吉

△駒引草ヲウリヨヒヨウス寒、
取様エリ同前

△能ハ熱ヲサシ腫ラヘテシ痛ヲ止メヤ
ケトウルシニケ膏茶カフニ吉虚ノ
腫物ニ不使

△丁子ノ油ヲウリヨナアラテ大熱

能ハ疼ヲ止温ル也虫食齒ザシテ吉
筋氣脚氣中風ニ此油ニ反土之油反
野菊之油ニ反ナイナノ油ニ反調合
メ付骨ノ痛ニモ吉肉所ノ痛ハ
油ニ反加テ塗ヘシ

△土ノ油ヲウリヨタイラテ温也

國之山川ニ有水ニウキテ流ト云日本
ニテハ信濃ニ有ト云

テレメンチイナノ油 大熱

能ハ疵ヲヨク調悪血ヲ去筋骨不
テ吉筋氣脚氣中風第一吉身
吉

△人油

能ハ諸々之痛ヲトメ和腹腸出
ルニアタメテヌリ押入タルカ吉

△馬之油

寒、

能ハヤケトニ妙也

チイナ并丁子ノ油取様口傳

藥性

ホルトカシ之代日本ニテ胡麻之油ヲ使
右ノ油ト有ヘモコノ油也性平和氣吸
蟻和ル愈ス吸温也

松脂強吸フ温ル愈ス温也

チヤン吸フ温ル愈ス引上ル温也

緑青本肉ト悪肉トラヘタテキヨ
スルナリ

スルナリ

明者悪肉ヲ引ナカシ癒ス寒也

蜜肪ヲ去リ腫物補フ

酢和ル押ス痛ヲ止蜜ト本肉ト悪肉
トノ間入ル温白乳ハ冷愈肉上ル也

ヤケト吉

ヤケト吉

黄白ノ遣搦口傳有

唐ノ玉愈ス肌ヲヨクスル

丹礬惡肉ヲチカシ愈ス寒也

乳香痛ヲ止ルハヌト云

役茶微寒能イヤス腫物之アトヲキ
ヨクハタエ能愈ス

ヨクハタエ能愈ス

辰砂寒熱ヲサシイヤスニ色共ニ同
性也亦云金ノカスハ肉ヲ調悪血ヲ去
リ痛ヲ止ト云一流有

ハス肉ヲ破リタケラカス

ヒニシ巴豆同性

仙人草大吸除シ悪血

ニニ筋ヲ動シ和ル

ニニ筋ヲ動シ和ル

ニニ筋ヲ動シ和ル

鹿角霜肉ヲ上ケ愈ス

ナスヒ 寒押愈ス

ゴハ 悪血ヲ散ス愈ス

青木ノ葉肉ヲ上ケアタメ筋ヲヤハ

ラケ悪ヲ去ル

夕コ葉吸愈ス

蓮之葉悪血ヲチラス痛ヲ止濕ヲ除ク

セキセウ痛ヲ止メ悪血ヲチラス

蝸牛之黒焼ヨク愈ス

タカラシ 吸愈ス

チ井ナ 吸愈ス補ヲ勝ヲ止ル

下シテカヤハラケ愈ス

ヤシホ 痛ヲ止愈ス疝口ナトノ腫

イタムズリテ吉方ノ疼ヲトメル
腫物之口明ル膏茶

インエントブトリウシ

巴豆 極末メ
ヒンシ同各一分

ヒンシ同 共分 辰砂同 三分

右油ニ煉但シ火ヲ不入甘ク辰砂ヲ

入ハシシヤハキメヘシミコムヨリ如右

花之油トハロウサノ油也

南蠻イケトモ云和イハラシヤウヒン

ナリ白花モ吉油取抹花ヲツミマ

ノ油ハ漬ケクサラシテ後シメテ取也

胡麻之油目ニ外四百目アリ

山灯ノ花平物ヲ破肉ヲ取

ヒソク石 大寒物ヲ於ス

ハシクシ 熱物ヲ温メ和筋ヲ取能

噲也小兒ノ頭ニ出ル瘡ニ吉

ヒイホノ葉 熱物ヲ能温ル也但是計不遺

槐脂 熱是ハ血ヲ能止物ウニス

ノウセンカウラノ花 熱シツケラ去ル

但リウシヤウ花トモ云

カシカサユセ瘡不愈ニ此花ヲツカウ花

サキ時カツラヲ遣

栢ノ木葉 平茶ニハ不遺洗茶ニツカ

ウチナリ

山牛房ノ根 筋氣脚氣痛 別茶

ト合ツカウ 女ノ腰氣 味噌汁ニ用

石ノウタ 一切ノ血止 是計ツカウ

白エリ根 スリクタキツカウ

練ニ入腫物 沉ミ又打身ニモリ下ニテ

痛時付テヨシ

大山芥ノ葉 血ヲ止物ヲカワカス

小麦粉 筋ヲ和ケ肉ヲ上ル

大黃 冷 痛ヲ止血ヲ散ス

丹 肉ヲ上肌ヲヨクス

唐土 血ヲ散ハタエラ能ス

シヤ 物ヲ散ス噲ス寒也

ヒミシノ葉 吸シツケラ貫

カチ栗 肉ヲ上痛ヲ止ル

檜ノ葉 肉ヲ上痛ヲ止ル

肉ヲ上痛ヲ止ル

ヲハエ 吸愈ス

赤螺ノカラ 痛ヲ止散ス

朱冷 血ヲ散ス

ウワウ 虫ヲ吉シシツケテ去ル

水金 大寒 虚人ニツカラス

石菖蒲 物ヲ能散ス

土竜黒 惡血ヲ去肉ヲ上痛止

巴豆 肉ヲ破タラカス

虫腦 冷熱性ヲサニス

薰陸 熱筋ヲ和温ムル

キリン血 血留シメテ去ス

サフラン 温氣去血散肉ヲ温ル

國老ハ甘草ノ事ニ

黒膏ト云コト金瘡本ニ多有白石ノ事ニ

天花粉 カラス瓜ノ事

天南星 寒藥痰ノ薬ニヨクテ散ス之玉子ノ白身

口クワイ 寒薬ニヨク痛ヲ止小兒ノ小瘡ナドニ

丹心 ドニクノトレカテタル物ナドニハシリニセ

ミダソウ 金ノ口カスノ事ニ

草人參 此實ヲ茶調子ト云ウツカウ

セイカウヨモギノ様成葉之表裏トモ青シ

インテン 川原ヨモギノ事ニ裏表トモ白シヨモギ

白蛇散 虫喰齒ヨク痛用ニ妙ニ中地氏傳來

青シトト云鳥ノ

天石 シヤリカウベノ事

四十草 五八草ノ事



飛白麩

ワドシノ粉飛散乱

フクリ

ミツリカンソウノ事ノ小兒ナト用
小瘡類ヨシ

アサシラケハエノ事

水片
ヘシノウノ事ノ

猪狹子猪ノ子ノ油ノ

膏藥本

一 イクセントアウリウシ

黄蠟 六拾目 油 二斤半

松脂 六拾目 乳香 拾反

没薬 拾目 鬱金 拾反

右油蠟チイナヤニヲ入者トカシ後

乳香没薬ヲ入ウコシハ鍋ヲラシ

テ入ル

△ 能ハ腫ヲケシ痛ヲ取止ル

一 イクセントアヒシヤクシ

ワセウ 五拾目 明礬 拾反

白蜜 百四拾目 酢 七拾目

右一度ニ入色サス時上ル

△ 能ハウラ虫吉万クサリヲ止ル

一 イクセントハシリヤクシ

黄蠟 八拾目 千ヤシ 八拾目

松脂 二斤 油 二斤

右煉搗如常能吸膿スル湿毒疥

妙有

一 イクセントカンフラトン

花之油百拾目 白蠟 五拾反

唐之土 四拾目 龍腦 二反

麝香 右蠟者又トカシ

花ノ油入鍋ヲラヨシ唐土射香入ル

能ハ小瘡ヲ吉熱ヲサニス草ニ吉

イクエントテヤルテイヤ

カシ油ニ拾目 土ノ油ニ拾反

アヒル油ニ拾目 狐ノ油拾反

ウイ香油同 野菊油拾反

柑ノ實ノ油五反 亀ノ油五反

石カ 右ノ油五反 アラキ酒十反

蠟 半斤 チイナ 五反

右拾三色能ハ筋ヲ伸シ骨温也

イクエントトアホストロルン

赤松脂 十四反 蠟 十四反

アヒル油 十四反 千イナ 同

呂カス 九反 鹿角 霜ニ 六反

アヒル油 四反 丹 五反

右凡色ニ油八拾目入酢立夕右脂蠟

ヲ入煮トカシ酢ニ入余茶ヲ入能膿

気ヌキ悪肉ヲ去ル色ヲヨク久成

加減アホス

ホルトカシノ油九拾目 巴豆 八反

ヒニシ十二反右煎炭ニテ成程煎火

センニ各々サ共カ 蠟 四拾目

松脂拾立反右煎火右之油内トシ

トヤ鍋ニ入カハクシモ六反 淨益ニ拾目

乳香 六反 右内ニ入酢（抄本）
入イツテ後油ヲ入テ上ルサテ口（抄本）
ニ拾反 右上ケサニ入ル

イツエント テキステイフン
チイナ四拾目 没薬 二反

ヲトキリ草ノ花油ニ合如常

能ハ熱ヲサシ膿氣ヲサリ疵吉
中愈ス

イツエント フメイル
花蠟 三拾目 丹 拾反

辰砂 五反 野塩 一合

キリ血 五反 油 一合

玉子ノ黄セツク 右煉様如常

能疵ハウツト々合ホツシニ甘ル愈シ
妙也

イツエント ヒクルム

蠟 五兩 乳香 八兩 丁子 三兩

佳 三兩 縮砂 五兩 玉子油 同

油 百目 ンテイカ少入右丁子佳縮

砂ヲ油ニ入煎出シ糟ヲ去リ乳香ヲ

ソクト煉布ニテコシ糟ヲ去蠟ヲ合

丁子佳ノ粉少宛入テ吉

能ハ熱也寒ノ腫物吉筋伸シ痛
ヲ止色々能膿能浮ス也打身吉

イツエント スタシゴスト

黄丹 四拾目

蠟

二拾目

キリン血 五反

シシヤ 五反

野塩 拾反

シシヤカ 拾反

右煉様如常能燒所ニ吉愈ス

イソエント フホテルトフ

カミイ茶ツリニ拾目玉子ノ黄身少

シ茶碗一盃油廿目丹拾五反右一度

煉ル右能膿吸肉上ルヨリ愈下

疳妙鴉瘡ニ七吉

イソエントヘンゴウエウイシトロ

玉子自身ニ半分シシヤ共カ

小麦粉 一反

酢チヨクニツ

右煉様如常能脊ツキヨシ

イソエントアキリヤシ

クハ青汁 五合

明礬 二反

タカラシノ青汁 五合

丹塔 二反

鱒 五拾目

油 二拾目

右煉様如常。能吸破肉ヲ上ル

イソエント フラシタサアル

鱒

ニテニ反共カ 油 百目

丹 三拾ニ反 煉様如常能一切之

焼ドニ吉

イソエント ミンイル

野塩 四反

牛ノ油 二反

乳香 二反

松ノ油 四反

下シテイカ 二反

鱒 四反

黄栢 四反

サアラシ 四反

煉搗如常。能肉ヲ温クイサズ也

イソエンソト エニイヒリイト

野塩 拾反 フトウ酒 一反

人油 一反 乳香 四反

小麦粉 一合 煉搗如常

能疵吉鳥羽ニテヒク

イソエンソト アセエテ

ウイキヤウソク汁 イソエンソトノ汁

合ツ野塩一反 下ニイカニ反 鱒少

煉搗如常能金瘡之痛ヲ止ル焼

トノホトウリ取ルヨク止ル

イソエンソト フトウリヨシ

フトウノ木葉一反 丹心ニ反

松脂 五反 乳香 五反

黄蠟 五反 ヒソウ 五反

フトウノ木ノ汁 茶碗ニ一盃

油 小茶碗一盃 右何モ粉メ油入煉

煮カシフトウノ木ノ汁ナキ程煎

布ニテアコシロクセウ粉メ少入ル

イソエンソト サアニウ

野塩油 三十目 油 三十目

タバコ葉 エントウノ葉

アライノ根 小エントウノ葉

右四味亦分ニ割中ニモイハテ汁大入

右油入一日置其後アツク油 三十目

鱒 三十目 松脂 同目 入煉搗如常

能痛ヲ万止ハ妙有

イクニ下テシタホ

チイナ四十目 乳香油去二反

没菜油去二反 玉子黄斗ニツ

火ヲ忘大ニ補深疵立月過テ遣肉止
リ深物骨之キワヨリ肉止ル

云言膏

黄蠟野塩油各ホ分又ハ花

アライ根 五反ニト口各ホ分右ニ色油

一日浸シ煎布ニテコシ油天目ニ盃有

ハ家猪内油三十目 松脂三十目

粉メ入但蠟ハ加減次第右平初中

後吉切落タレ可ラツク妙也

白芨拾反 四拾反

三度焼 アシカウ四十目

輕粉二反 乳香 二反

唐土水飛一兩 没菜 二反

阿仙菜二反 龍腦 五分

右者并之底一落打

破リタシラ愈スラ見テ使也打疵袋折妙

一 茄子二百 ツルハゴベ 三株

蓮葉一株 青木 三株

石昌一株 右水三斗入煎出シ

布ニテユシテ煎結遣乳香没菜又遣

之右惡血ヲ散シ痛止乳香癰吉兵

疽吉ヤキ菜ニメ吉ナリ

キウノ魚焼加テセキニテ吉

一 万腫物洗 羊古キ腫物ニテ吉

シヤウノウニ 二反
ロクセウ 二反

白砂糖 二反
ワカンセキ 一反五分

焼酒 百目
酢 八拾目

水百廿拾目入半時計煎ツホ入置也

一 痰之洗 茶

青木葉十枚計割丹礬一反

水一盃羊カ入一盃煎温徳切テソウ

洗痰右之如クニシテ取テソウ愈ガ

一 トラトウリヨシ

百子一反 蟬ノクンシ

右ソクイニテ押メセ置

一 同方

ヒシシ モチノアリ 石バイサホニ各五分

一 同方

巴豆 一反
ミツタサウ 二反
ソクニ五分

沙石 二反
ヒシシ 十反
野塩之油 三分

蠟 十反
ウリホソカケキ 考
右ホソトソク

ト巴豆下油ト能加減煉エシテニツタ草

シシセキ入ル

イクエント ドフトウリウニスビタ

仙人草之汁 五分
松脂 五拾目

右煉結油見合入煉布ニテニス

一 廿四時膏

松脂 唐之土 八シク各五分

龍腦

ハラヤ

五文

ハカサ

家猪口油ニテ煉上ケサニカミイサ

ホツリヲスクイ入テ煉リセ使

一焼トセウチルニシノシホリ汁ニ付ル

イリエント

テヤキロン

野菊ノ油ハ女 ウイキヤウ油ハ女

右三色煮カシテニニ同ニ及六分

右ハ同小アライ根右三色粉ニ大白

水ヲ入煎出シユシサテ其汁ヲ煉カ

タレ但能キ言ニナイナニ及赤

松脂ニ及黄蠟ニ及右三色ソロ

くト者火トカシ右之茶共入カタキ

時トトモシノ汁ニ及六分入ソロト入子

インハラストテヘンスイフン

シタン粉ニメイラノ花ノ水六十目

黄蠟一斤半 カヤ油六十目

タフノ膏粉ハ女 煖土粉ハ女

右諸ノ腫ヲケシ熱ヲサスス之

インハラストカラサテイヤ

黄蠟 四十目 ヤキツノ油同

チイナ 廿目 松脂 四十目

乳香 三及 ロソセウ三及

右六味入炭火ニテよくト煉アハタチ

キル時吉

能疵ニ腫物ニ吉但愈膏茶也

膿気有ハ悪シ新疵ニ少屑

上ナラシク

又

イシハラストニマハル

油 二斤半

及之油 二百八拾目

金ノ口カス 二斤半

明礬 四拾目

白丹礬 四十目

右口カス酢テ水

飛メ油ト及之油ト二色煮トカシ口

カスヲ粉メ油ヲ加静煉後明シ

丹礬ヲ入ル平也皮ヲ生愈シ疵モ吉

打折及所ハ酢ニテトギ甘ル之

イシハラスト メリロウト

メリロウト粉六拾目 口カス粉 三反

タノ美粉 同

野菊 同

花粉 同 口カス粉 同 根粉 同

肉桂 三反五カ

子イナ 十反

三ツハ芥ノ實粉 三反五カ

子フノ木ノヤニ 拾反

ソコウ 五反

松脂 十二反

南蠻カキ粉 十二反

厚シク油 四十目

蠟 八十目

宿砂 二反五カ

子スサシ木ノ實

三拾目 右拾七味ニテ煉能温メ腫ヲ

ヘテシ痛ヲ苗中風脚氣吉疵忘

イシハラスト ムスラケラス

エロハ 小アライ根粉 一三

各四十目 エリノ油 二拾目

右三色粉メテマロンノ如煉ル也

ニシノ油 三拾反

カイナ 三拾反

ホウレンヤ 二拾反
ハツキ 廿四反

黄蠟 六拾目
牛ノ油 廿四反

右何モ酢ニテ煮上カシ後油ヲ又煉
カヌルナリ△能微温腫ヲ入ラシ熱
ヲサニス痛ヲ留一切腫ニ吉

イソハラスト 三シコロシ

黄蠟 六拾目 松脂 同 松油告

千イナ 二十目 右四色煮上カシ木綿ヲ

我ノ木脂 二拾反 玉乳香 廿目

ウエシ粉 二十目 没薬粉 同

サシノ皮 同 残菜味ヲ入煉ル之
能筋ヲ和ケ腫ヲ減熱サシ痛ヲ留
骨折タルヲツキ方ノカタニリヲ和ケ

文

手足ノクシキタルニモ吉脚氣中風方吉

イソハラスト 二テミイニヨ

丹一斤 油二斤 蠟 半斤

千イナ 四拾目 ナリ 二十目 イロウ 二十目

ヤシノ粉ニメ細切シシヤ又煉様如常
能腫物皮ヲ生上愈シ熱サシ方疔
ノ皮ヲ生ル也

イソハラスト ゲシリウシ

ムニヤウ井 拾反 没薬 二反

玉乳香 四反 セウノウ 一反 其カ

金ノロカス 二十目 唐ノ土 廿反

白蠟 二十目 千イナ 十反

ヤキウ油 二十目 能骨クシケタルヲ

ツクニ熱ヲサシ筋ヲ和ケ腫ヲスラカク

インハラスト ハシリヨシ

片ヤシ 百目油 廿五反 蠟 廿五反

玉乳香 一匁 白砂糖 一匁 サフラン 一匁 芳

右煉搽如常

能痛ヲ留ヨクウニス温メ能吸ク

インハラスト タウノスモシリウリヨシ

カラサテイヤ 六十目 ゲレチウシ 六十目

ヨロノ實 六反 キリン血 一匁 五匁

乳香 一匁 五匁 能万腫 吉コトシウ

タシ腫 吉上膏 芥ハ何ニモ吉

アンハラスト ソルタス

松脂 百目 トクズ 十反

青木葉 十反 小殊 五反

カキメ 二反 油 拾反

黄蠟 廿五反 乳香 廿五反

右一ツ入煎火布ニテケシ使也

△能打身折タル時遣也

インハラスト トフトウリヨシ

ホレイ 六反 ヒソウ 三反

丹礬石油 十ヨツ タシハシ 四反

フトウノ木ノイナ反 右粉ニメ酢浸シ

右昔日置其後鍋入鉄クケタラシテ

土ニテ塗リ初日火ニテ煉二日メニ時

三日メニ鍋ヲラロシアツ灰ノ上ニ時

程置フタラトル

一野菊ヲ油浸シ十四五日置
黃蠟ヲ入煉リ遣能筋氣ノ痛止
万之痛ヲ由少散也

一白芷膏

白芷 當皈 地黃 玄參 黃連

甘草 川芎 大黃 沉香 黃芩

皮物 紫粗 黃柏 各二兩 青木葉

忍冬 各五兩 胡六ノ油 殊 椰子油

二兩 右各冬ハ十日夏ハ七日置扱煎

三シ其後丹一斤入テ午ヲカス能

加減煉也

△能古キ物ヲ能愈ス虛証ニ痛ヲ留

一切ノ打身之血ヲ能補イテラス灸

ノ痛ヲ留腫タル痔ノ痛ニ諸ノ
瘡ノヨリタル噫シ何レ不知イタル
物ノ搨茶炒膏

一乱濕ノ平吸心有

當皈 連翹 白芷 白芨 烏藥

宮桂 各二兩 川烏頭

草烏頭 大黃 各六兩 苦辛

皂角 各五兩 槐枝 桑枝 柳ノ

枝 桃ノ枝 棗枝 各五兩 右何モ

アラクト割 胡麻油 二斤 二夜漬

炭ニテ茶味炭ニ成 襪煎布ニテ

コシ亦煎油ヲ水ニ落シ不散之時

水飛之丹百二拾目入柳ノ合ニテ

一野菊ヲ油浸シ十四日置
黃蠟ヲ入煉リ遣能筋氣ノ痛止
万之痛ヲ由少散也

一白芷膏

柳皮

白芷 當皈 地黃 玄參 黃連
甘草 川芎 大黃 沉香 黃芩
皮物 七 咀 黃柏 各二兩 青木葉
忍冬 各 胡 油 殊 椰子油
二兩 右各冬 日夏六七日置扱煎
ニシ其後丹 一テ午ヲカス能

△能古キ物ヲ能愈ス虛証痛ヲ留
一切ノ打身之血ヲ能補イテラズ灸

ノ痛ヲ留腫タル痔ノ痛吉諸ノ
瘡ノヨリタル噫シ何モ不知イタル
物ノ搨茶妙膏

一乱濕ノ平吸心有

當皈 連翹 白芷 白芨 烏藥
宮桂 各 川烏頭

草烏頭 大黃 各 苦辛
皂角 各 槐枝 桑枝 柳

枝 桃枝 棗枝 各 反右何モ

アラクト割胡麻油ニ斤ニ夜漬

炭ニテ茶味炭ニ成程煎布ニテ

ニシ亦煎油ヲ水ニ落シ不散之時

水飛之丹百ニ拾目入柳ノ今ニテ

煉合水三落加減見合上八カメテ
乳香没茶四又宛細末メカキ合
置之△能温氣ヲ去癰疽疔腫
毒風寒其外無名腫物ノ痛ヲ望
筋氣脚氣胸之痛腹痛痰其外
破損一切之痛心灸ナ膿カ上リ
愈難キ亦虫喰齒之穴入妙之

一金瘡膏

一二天目二益 唐土水飛メ
二拾目 唐蠟加減第先犬ホツ羊
影千メ一斤水升余入天目二益
煎ツメ搗去リ上右之油ト蠟ト
合煎水ケナキ時ヲコシサシ唐土

スリ合置也金瘡ニ初中後妙有

一黃膏

野塩十五反 黄蠟拾反
松脂二反 玉子黄二ツ
合久冷メ△能噲入穴深物肉留

一同膏藥

胡二之油五拾目 松脂二拾目
南蜜蠟 野塩十反
唐礬金一反 合膿シ引上上痛
留寒玉子ノキニ灸白身メセ三ツ
癰疔氣腫万之腫物之惡肉亦膿
切搥メ吉
万能膏

合觀皮

白楊樹皮各二兩

右割胡麻油一升浸之三日置如常

煉黃丹百目入丸半時乳香沒藥

各三反澤蟹中黃少入三煉合

少冷能押散吸愈之筋骨

羊大三妙有

小兒膏

土竜小 石炭大 甘草大

參小 仙草小 確黃大

巴豆小 兒茶大 巴サラミ米小

各粉メ松脂但油ニテ煉置其時ニ

煉付テ吉赤ニ吉

無二膏

當飯 川芎 大黃 赤芍藥

生地黄 玄參 白芷 桂

黃芩 參 黃連 山梔子

黃柏 沉香 木鱉子 木香 藜蘆

青木葉 枳殼 細割胡麻油并合

漬夏二日秋冬五日浸置テ炭火

ニテソウクト煎茶種黒クユケタ

時衣ニテ瀝澤ヲ去亦油ヲ煎

露ヲ洛不散時油ヲ榨擲三百卅目

水飛黃丹百八拾目入柳ノハラニテ

ソロケト煉丹黒色ニ成タル時水

入見玉成時鉢ニ合テ乳香沒藥

騏驎竭輕粉各一反宛細末メ合

クカキ合ツホ入遣シ
能癰疽疔腫委胸ノ痛筋氣
脚氣打身腫物難愈妙治也

武嶋秘傳膏

參 二分 芍薬 當飯 圭

生地黃 玄參 黃柏 茯苓

檳榔子 山歸來 各二兩 右末メ

胡六ノ油 并以煎出シ 宮縮ニテ瀝

滓ヲ去青木ノ葉ヲ火ニテアフリ裏

筋ヲ去粉メ 三兩丹一斤合キ合

糖ノ如煉火ヲソコト燒煉之

黃連膏

黃連 一兩 黃柏 二兩 右二味ニ

水又汁出ル程煎滓ヲ去胡麻油
ニ共煎煎汁ニ入亦煎上共ニ唐辛
早目水飛入野塩廿反入ル加減靈天
蓋沖頂ニ燒冷燒上痛物出来ル
吉其外押散也

白石膏

艾黑燒 一兩 油 一斤 丹 八 庭油 入
煉也 一、二、三、花水 煎水 玉子ノ白
身ニ色合木綿ニ浸シ付テ痛ヲ和也

茄子膏

茄子 百廿 青木葉 百廿 合キ少百反
日七午 同 八、八、同 蓮葉 同
尺八寸 百目 黃柏 同 忍冬 少

アソクニシツ右水三斗ニテカ赤ニホテ
モ見合次第

黒膏

玄參 香白芷 赤芍薬

當取肉桂大黃生地黄各十錢

胡麻油三百其文丹百四十目右如常

煉テ一七日竹皮ニ包テ干ケ置也

腫物引上膏相ニモ吉セウカニ百背

スリ汁ヲシホリ其汁ニアキヤウ拾麦

入四五日付置鍋ニ煉後乳香麝

没薬同粉メ入ル

妙方ハニツリ貝ノ汁ニハ香入合丸

メ入イソエシタテヤハルニニツタサウ

但金ノカス百反ホルトカノ油百反

ブタ胃ノ油五拾目白蠟辛目右煉搗

三色之油入煎ミツタサウ入ル

能是者腫物膿テ後針タテカダ

キニ付ル如口明

一蠟十九反乳香麦キリン血同

シロクマウコシ麦右粉メ胡麻ノ

油ニテもくと煎油拾反ニシシヤセカ

玉子油二反後入金瘡万痛吉

膿シ膏薬

黄蠟 松脂 千ヤン各拾目

宛油入沃第

同膿薬

八重ナリブンゴウ 玉子ノ黄身オウゴン 盐胡シヨコノ之油アブラ
テトキ付ル

南蛮流押藥

車前草ノ水煎アブ 煮ハ燒酒アサヒヲ煎如
水入蜜少腫物洗押シアサヒ 糸モ吉木
綿浸シ腫物之上アサヒ 付ル也

一足ノ裏ワレ候ニアサヒ 付ルキモ串サシ
アリ足ノワレメエソウアサヒ トラシ付汁

付候ハ吉

參アサヒ 芍薬アサヒ 當飯アサヒ 生地黃アサヒ 圭

玄參アサヒ 黄柏アサヒ 茯苓アサヒ 煆アサヒ 榔子アサヒ

各一兩宛 丹六拾目 青木葉アサヒ 十二反アサヒ 二分

胡麻油アサヒ 一升 此云人ヲ後加裁右買

内青木葉六反 丹拾二反

花水之取様

イハラセツビンアサヒ 花ヲ取テアサヒ へソイアサヒ ノ上ニハウリ

ヲ置其中アサヒ 砂ヲ一寸程敷其砂中ニ銅アサヒ 片唐金

ノ鍋ヲ置亦其鍋内アサヒ 砂ヲカクシ敷其ノ上

花ニ置亦其銅鍋アサヒ ノ上アサヒ 付シキヲ置其上アサヒ 常ノ

鍋之底ヲ洗アサヒ ヂ水ヲ入件アサヒ ノへソウアサヒ イ火ヲタ

ル也此鍋ノ水アサヒ アツク成候アサヒ ハヒタモノ水ヲタ

ミカケ吉石アサヒ ノ上アサヒ キノ内ニハ蓋ヲ置蓋ノ上

穴ヲ明其穴竹アサヒ ノクダアサヒ ヲサシ込桶アサヒ ノ外アサヒ 多ク

出シ花ノ水出ル様アサヒ ニスル也

一万腫物内藥

蜂ノ巢アサヒ 其外

枇杷葉アサヒ 湯アサヒ ヲ去

フシコクサ 人 サイカチノ葉

ケシカツノ内ノ自見 杉ノ若葉

葉若葉其根 ニキツコシカケテ

青木葉 同断 スイカツラ

右一兩宛一貼三反ツ、煎搗如常

酒酢ヲ忘瘡氣ナトニテヤセ虚人

ハ參少加

仙清膏

當飯 生地黃 為藥 質下傳 大黃

玄參 白芷 桂 三兩宛

油一升 入右葉黑成ホト煎付蠟

百拾目 丹百目後ニ入煉也

イククエント

一シテイカ百目 二シニク 五拾目

三ノ油 五拾目 右油ニテニシニクク

サナキニテ煎其後蠟減次第ニ

入ル。能ハイキレシモヤケ妙有

イククエント ~~ニシニ~~膏

一シテイカ 百目

胡麻ノ油 五拾目

ニシニク 同

蠟 少

右油トニシニクト入煎火ニシニクノク

サミ去ニテ煎其後蠟甲カケンニ入ル

尤カスラ去

寄効油 自蠟一シテイカ野塩一町入湯煎ニホカ
器ニテ龍腦ヲ湯煎ニシテ龍腦ノ上右
三色ヲ入ヨク交合油ヲ入煉

白蠟 拾兩

一シニテイカ 三反

野塩 三反

白梅花 一反五片
リウウツノ事

油 應加減入右煉様口傳

△能腫物ヤケトノ痛ヲ止ルニハスミ

レノ油入ヒヤウソニハ牛ノ油ヲ入痛

ヲ止ル也 一劑ニ付油七拾目入テヨシ

イツエント トツフエシ

白蠟 二拾目

松脂 二目

猪油 拾反

家猪油 同

丹 二拾目

油加減

△能痛ヲ止吸愈ス肉ヲ平ニシヤケ

ト湯傷下疳ヲヤクノ寄妙也陰

中瘡ヌリテ吉

但辰砂少入ハ色ヨクナル也

師傳曰油一劑ニ付立拾目入テ吉

アボス煉様 石川氏煉被申候ヲ見覺申候此外ニ傳

一油中へハツヒニシ入名ク成近イリ扱蠟松柏乳香

ヲ入ヨクカキマワシ蠟ノトケタル時ヤシヲ入鹿角

霜外ノチニテ酢ヲ入七八分甘ホドニ成時分右ノ葉

種ヲアラキ布ニテテシ鹿角ノ入タルチニウツスヨク

カキウシカケシラ見上ハ大方サメタル時ヨクセウラ

ヨク粉ニシテ入

一ルウタ膏

青汁 百廿反 油 百反 黄蠟 廿反

野乐 拾反又六十反又モ入青汁水気ナキ

時拾反水気交ル時八十五反

元文四年七月廿日煉丸覺高橋氏
青汁ニ合黄蠟十反油一合但覺ヤシ赤ニ反

小瘡ニルウタニアルインニ交遣

口傳之油

一小麥一升水漬砂ヲ煮
白拔油二升
乳香アゲテ後入九文
野塩油アゲテ後入四文
貝少口傳

右之内ハ没薬ヲ入ル方御座候得共
口傳ニテ没薬ヲ去ル

私曰煉様口傳外書記置置貝大秘夏
一味配劑也高氏ノ傳ヲ受置



寛保二壬戌年十一月九日烏吉

イホ振左衛門

ハヅ
ケイフシナハストミ
リニ

フクボシ

白サリ

カニノ毛

イシ

川イシ

